

発行
 青少年健全育成鯖江市民会議
 鯖江市教育委員会
 鯖江市社会教育委員会

協力
 丹南青少年愛護センター鯖丹支所

はぐみ

家庭教育を考えるシリーズ

教育
 相談室

カウンセラーの窓から

子どもが気づかせてくれたもの

小学校低学年の娘を持つお父さんから、相談を受けました。
 「たびたびお腹が痛い、のどが痛い、足が痛いと言っているので、学校まで送って行く時があります。帰って来たら友だちとも遊んでいるし、よくしゃべります。病院で診てもらっても大丈夫と言われるし、どう接したら良いのでしょうか。」



中学二年生アクリル画
 題「なつかしの…」

遅れそうになる本人を急かして、学校まで送り届けるお父さんを労いつつ、話を聴きました。
 フルタイムで働くお母さんより、自営で時間の都合がつかうお父さんや

お父さんに誘われて、お母さんも相談に同席されることがありました。
 お母さんは、「娘にお腹や頭が痛いと言われると、内心とても心配でしたが、父親や祖母に頼んで家を出るしかなく、何もしてやれなかった。」と涙をぬぐいました。そして、娘が痛みを訴えた頃と、仕事量が増え毎日のように残業が続いていた頃とが重なっていたことに気がつきました。
 仕事が変わり慣れないこともあって自分も辛く、心に余裕が無くなってたと打ち明けると、お母さんの気持ちは随分楽になりました。
 友だちや先生のことであつたり、学習のことであつたりと誰かにしゃべり

つながりが創る 豊かな子育て

56号



『わーい！葉っぱのシャワーだ〜♪』石田保育所



『おいも やさしくつんでね』北中山幼稚園



『親子でストレッチ』神明小学校



『大声援!! 後輩からのバトンパス』中央中学校

青少年健全育成鯖江市民会議

11月に市内ショッピングセンターにて広告入りのホックイロを配り、全席シートベルト着用を推進する呼びかけ運動を行いました。



ベルトした？みんなしたよ！が あいことば
 正しいチャイルドシート着用は 未来の宝を守ります！
 青少年健全育成鯖江市民会議

「はぐみ」は、家庭のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと発刊しております。子育てのヒントになればと思います。ご意見をお聞かせください。

鯖江市教育委員会生涯学習・スポーツ課
 TEL 53-2256
 〒916-8666
 鯖江市西山町 13-1



中学三年生塑像 題「人の形に込めたもの」

こともあるようです。
 心とからだはつながっています。そうやって「心にふたをしてしまふ」ことが度重なることで、体の症状となって表れてしまふ子に出会うことは、めずらしくありません。
 それから、家族で話し合っって働き方を見直すと、娘の方もお母さんに少しずつ思ったことを話すようになりました。
 「あのまま仕事を続けていたら、私も体を壊していたかもしれせん。娘がそのことに気づかせてくれたように思います。」とお母さんは話してくれました。

(T・S)

つながりよう子ども育ちき！ つながろう家庭・地域・学校！

女性の社会活躍が推奨されている鯖江市では、働きながら子育てをしている女性が増えています。責任をもって社会で働きながら、家庭では子育てや家事をこなすお母さん、お父さんの毎日は本当に大変です。とりわけ共働き家庭や核家族家庭ではその悩みも切実です。笑顔で子育てを楽しむためには、どうしたらよいのでしょうか。いっしょに考えてみませんか。



◎コミュニケーションでつながる

ほんの少しの会話を通して、子どもは「聞いてもらえた」「分かってもらえた」「認めてもらえた」という気持ちがあふくらみます。ゆとりをもって、子どもとの対話を楽しみたいですね。でも、どうしても手が離せないときには、「手紙」で伝え合うのも一つの方法ですよ。

◎ママ友・パパ友とつながる

学校行事、PTA活動、地域行事は、子育て中の保護者や地域の人たちとつながる絶好のチャンス。悩みや不安を語り合い、支え合う場となります。

◎先輩サポーターとつながる

祖父母や高齢者が子育てのサポートの役割を担うことへの期待が高まっています。ただ、シニア世代と親世代では、子育てについての認識に世代間ギャップがつきものです。そんなときこそ、どんな助けがほしいのか話し合ってみましょう。



忙しい時に限って話しかけてくるような気がするの私だけ？

あのお、お母さん
今日お、学校でお...

自分の子育てについて、周りの目が気になります。

子どもの抱き方に自信がもてない...

親が元気になるための支援は、子どもが元気になるための支援でもあります。気軽に相談に乗ったり、きめ細やかな助言を行ったりする子育てサポーターや保健師さんが地域で活動しています。

引っ越しをして知り合いがいまません。誰に声をかけたらよいか分からない。うちの子大丈夫かしら...



鯖江市子育て支援センター
Tel 51-3527
桜町3丁目7-20

涸滴

「つながり、見せる、聞く」 子育てのヒント

「忙しくて時間が取れない。」「周りの人に応援してもらいたい。」「保護者の声です。周りの方に関わってもらいながら、どう子育てをしていくとよいのでしょうか。」

ある講演会で「孫育て十か条」のお話を伺いました。祖父母の孫育てとして「他の人と関わらせる」「仕事を見せる」「父親や母親にどういう教育をしてほしいのかを聞く」等が提言されていました。この話は、保護者の悩みを解決するヒントにもなるようなので紹介します。

①挨拶で他の人とつながる

お散歩や地区の行事、見守り活動等で近所の方に出会ったら、子どもにも挨拶を勧めていくというのです。近所の方も「Aちゃん、頑張っているね」「〇〇が好きなんだね」と声をかけてくれるようになります。挨拶を勧めながら、周囲の方と子どもをつなぎます。

②「畑仕事や家事」等、何でも見せる

子どもの教育の一つは、大人が仕事をしているところを見せることだということです。子どもを近くに置いて、畑仕事をしたり、家事をしたりすればよいのです。言って「しつける」だけでなく、「見せる」ことが大切だということです。見せるだけだから、負担は少ないのです。やがて、お手伝いができる場面が来れば、やらせてみます。そして「ありがとう」と子どもに伝えれば、子どもも意欲的になります。

③「どうしたらよいか」と聞く

幼稚園の園長さんからお聞きしたことです。園児が園でうまくいかず困っているときがあります。先生は、すぐ手出しをしないで「どうしたらいいかな」と園児に投げかけるそうです。園児も、まず自分でどうしたらいいか考え、自分の考えたことを先生に聞いてもらうそうです。それを続けていくことで、子どもはいろいろと自分で考えるようになり、何でも考え取り組む子に育つというのです。

「周囲につながり」「見せる」「聞く」の中に、子どもがじっくりと育つヒントが隠されているようです。

※「涸滴」は「くちくち」という意味。くちくち集まれれば、やがて大河となるという願いを込めて。